

高退協ニュース

高知高退協
事務局
2003.7.8
No.123

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目11-10
TEL 088-1822-1682
TEL 088-1822-1682
郵便振替口座 016650121118893

第3回 回生退教定定期

総務△云・交流△云もつ

6月4日・5日の両日は東京都の全国教育文化会館で、全国から105名の代表が参加し、標記の会がもたれました。高知高退協からは岡崎会長が出席しました。

第1日目は、相協会長の挨拶、石元全教委委員長のメッセージを受けた後、協議に入りしました。①02年度のあゆみと03年度の方針を井上事務局長が説明、②決算・監査報告、③予算案と会則改正の順で提案され承認しました。午後1時から経過と方針・予算案について、20名の代表から質疑や討論がありました。岡崎会長も討論に立ちました。

6時からは夕食を兼ねた懇親会となり、お互いに交流を深めました。第2日目は、9時から4つの分散会に別れて、各組織の状況や問題点、教訓等が出され実質的な分散会となりました。

午後1時から、全体会となり、①分散会の報告、②幹事会のまとめ、③予算案と方針の採決、④特別決議、⑤総会宣言の順で採択されました。(詳細は全退教ニュースで)

午後2時30分、相協会長の音頭で「団結がんばろう」を行い、全日程を無事終了。今年には総会と交流会の一本化がなされた会となりましたが、一定成功したものであります。(岡崎記)

俳句

五月二十四日(土) 大豊町、
ゆとりすとパークにて
合田青幹
目印はオランダ風車南 吹く
万緑に酔ひしハーブにも酔ひし
吉本伸秋

老鷹や動くともなき大風車
ほととぎす二声三声風に消ゆ
中内英明

目交に朴の大輪九十九折
素通しに五月の光合歡若葉
中内みち代

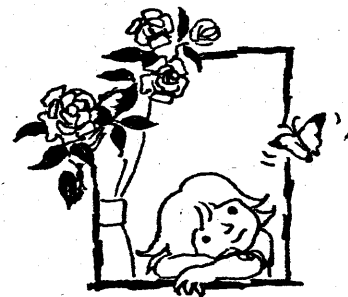
揺れ合へる音のしさうな小判草
高原の風に乗りゆくしゃぼん玉
小笠原さちを
噴水の形とどめぬ形かな
もう一度耳をすませば時鳥

高退協を大きく

今年度の新加入者は、3月退職者24名のなかから、21名が会員になって下さり、会員総数427名となりました。

山原健二郎記念館 準備資料室開設

「この地(上町二丁目)のこの家は、山原君が十期連続当選の喜びに沸いた、忘れることのできない場所であります。この歴史的な由緒ある所で『山原記念館』開館のテープカットを行うことができました」(浜田昌俊会長あいさつ)
六月十五日、四十名の有志が、準備・資料室を開設しました。痛を宣告された山原さんが力をふりしほりあいさつされました。
具体的な計画はこれからです。本来なら、計画を多くの方の賛同を得て発足すべきところですが、これが少しでも山原さんの励みになればとの思いからのスタートです。選出された役員には、高退協から七名が加わっています。
教育運動・労働運動・平和運動等を推進する「人民の家」にしたいものです。ご賛同ください。



老声草

どこまで庶民を
いじめるつもり
か
小泉内閣は六
月二十七日「骨
太の方針(第三
弾)」を閣議決定
しました。「七つの改革」を
進めるといふものです。私
たち庶民、とりわけ高齢者
にとつて、苦しみを増す内
容です。

①規制改革・構造改革特区では、病院経営への株式会社参入、公立学校の民間委託等。

②金融・産業再生では不良債権の早期処理の強行。利潤第一主義の追求、労働者の解雇と下請企業の切捨て等。
③税制改革では、消費税率の二ケタへの引き上げ、個人所得への課税強化が次々に。

④社会保障では、「給付費の伸びの抑制」を強調。すべてのお年寄から保険料をとる高齢者医療制度の創設等。
⑤「国と地方」の改革では、国庫補助負担金を約四兆円廃止・縮減し、地方自治体の負担増と福祉・教育の切り捨て押しつけ等。

⑥雇用では「五百三十万人雇用創出プログラム」を主張し、サービス部門の低賃金・不安定雇用を増加させる方針等、実現不可能案。
⑦予算編成プロセス改革では、「抑制」すべき分野として、年金・医療・介護などの制度「改革」や「給付・コストの見直し」を行うとしています。教育・文化分野でも「既存の補助を見直す」適切な受益者負担を求めることとしています。一方、軍事費や大企業向けの歳出では「重点化・効率化」は言及するものの、削減するとは言っていない。
削る内容が逆立ちしている、国民生活の破壊と財政悪化は必至といえます、許せません。

2003年度 夏季学習講座

日時 8月27日(水) 14:00~17:00

14:00 開会挨拶

14:10 相撲よもやま話 林 勤氏

相撲観戦が〇倍面白くなる

15:20 小休止

15:30 「産廃ストップ」の取り組みについて

森下芳文氏

16:40 閉会

場所 高知城ホール二階会議室

懇親会

日時 8月27日(水) 17:00

場所 高知城ホール二階和室

8月20日までに下記までお申し込み下さい。

中川正路 088-822-6778

和田 明 088-843-2713

寒泉寺殘日録 坪井 幹之

仏の戒め

春へんろの後日談である。旅から帰って数日後、身体に変調が表れた。朝起きると握力が消失、手がかなわなくなっていた。早速診療所に出向くと、精密検査が必要ということ。生協病院へ。脳のCTと血液検査を受けたが、異常は認められなかった。自分の間、経過をみてみようということになったが、日常生活上、甚だ困難な目に遭った。手が叶わぬようになったところへ、今度は足のふくらはぎに筋肉痛が現れ歩行が困難となった。結局、極度の疲労蓄積かと、読書と昼寝で日々を過ごした。そのうち、手足は復調してきたが、今度は頻尿に襲われた。十数年前に前立腺の手術をしているが、そのぶり返しか、もしかすると、「一万乗」の君と同病あい憐れむこともかも知れないと不安になっ

活動日誌

【5月】

9日 山原記念館第2回準備会

12日 山原事務所調査

13日 高退協事務局会

14日 徳島知事選応援(鴨島)

23日 教職員互助会ツア(徳島)

【6月】

2日 山原事務所掃除

4日 全退教定期総会・交流会(東京)

10日 高退協事務局会

14日 山原記念館準備室の準備

15日 山原記念館準備室オープニング・セレモニー

17日 ピースウェーブで市内小中校訪問

25日 四プロ役員会(川之江市)

26日 山原記念館第3回準備会

この間、数回にわたり有事法制反対・抗議集会をもつ

てきた。医療生協のニユースに血液検査のことが出ていたので、早速、検査を依頼した。結果が出るまでの一週間は不安で、手術も覚悟していたが幸いにも、陰性であった。運路の功徳は種々聞いてきたが、こんなことになるうとは、悪徳の報いかと、いろいろ悩んでいるうちに、逆にこれも功徳であることに思い至った。札所の本堂に祀られている諸仏のさとしに違いない。

「歳相応の生き方を悟れ、過労は老死の因縁」ドクター・ストッフならぬブッター・ストッフではなかったか。十日で四つの山越しを含んだ二三百斤の行程は歳からみて苦行ではなかったか、と反省。氣力に応じた体力を保つことが難しくなった老いの坂にかかったのであろう。それにしてもあと十三万所で大願成就のところまで来ている。五体を整えて、なんとか歩き運路をやり遂げたいと思う。「お大師さん、あんじょう頼みます」と祈っている次第。



年金制度大改悪に反対する学習会 開催

六月七日、年金者組合県本部、県高運連、県社保協が主催。会場のソールには一〇〇人が参加しました。講師は、年金実務センター代表で年金問題のエキスパート、公文昭夫氏。現行の年金制度の問題点政府の〇四年改悪の狙い、制度改善の提案など詳しく報告されました。会場から、現在年金を受けている高齢者への改悪の影響を問う質問があり、社会保険労務士により年金相談会が行われました。

訃報

会員の松本成さんが長期入院治療中、6月4日丸亀市で逝去、ご冥福をお祈りします。

ちよつと待った！ 教育基本法「改正」

標題は六月八日ソールでひらかれた「教育基本法を守る県民集会」で大森陽一氏(東大教授)の行った講演のそれである。すばらしい話だったと思うが高退協からはわずか五人の参加概要を紹介しよう。

日本の自衛隊は最新鋭のミサイルを撃つことができ、イージス艦を四隻持つなど戦争をするためのハードウェアは整った。そして新ガイドライン(97新)な日米防衛協力のための指針(周辺事態法(99)、有事関連法の成立(03六月)と、いわば「戦争をする国」に突入するためのハードもシステムも出来上がった。

しかし憲法九条を改悪しないと集団的自衛権は行使できない。そのためには国民投票で過半数の賛成が必要である。これを確実にやり切るために国民の意識を教育を通じて変えていこうとしている。教育基本法「改正」を求める中教審中間報告(三月)の中には嘩然とするような表現がいろいろある。例えば、頻発する政治や企業の不祥事の背景には倫理観や社会的使命観の喪失があり、国民全体のモラルの低下を加速させている。しかしそれは「うそだろう」と言いたい。倫理観のカケラもないことをやって来たのは政治家や官僚それをまるで教育が悪かったかのように言い、だから教育基本法を変えなければならぬ、という全く許しがたい論理。根本は日本経済を立てなおすための財界の要求、一%のエリート層の育成と九九%の切捨て。個人の教育権を奪い教育を国政の道具にしようとしていること。「公共」という国家主義と「国を愛する心」(ネオナショナリズム)を持ち込んで来ている。今国会への提出は見送られたがこれは必ず出てくる。教育基本法の全面実現こ

孫たちと

山本 景子

「星の巡礼」の本に出会った。四年程前、ヨーロッパでベストセラーになっている。続けて原作者の本を三冊読んだ。作者パウロ・コエーリヨはブラジル人で音楽家でもあるそうだ。訳者である山川紘夫妻の思い入れにも心動かされた。

今の私は孫たちと考え行動することが増えている。そして自分の肉体の老いを受け入れ、滅びない精神の強固と昂揚、喜びも求めている。中三の孫娘から数年前「人生で大事にしているものはなに？」と問われた時、「時間」と「愛」と答えた。そして今、人生の苦悩の入口に立つ孫娘に「よき戦い」の言葉をプレゼントしたのである。さまざま人間模様を心に独占されているに違いない孫娘を助けることが出来ればと思っただ。「星の巡礼」第五章に「よき戦い」の言葉を見つけた。「おばあちゃんほどんな戦いをして来たの？」と問われたが、それには答えず「良き戦いを進めるためには、あらゆるもの、人を自分が必要にしていることに気付き、それは傲慢な戦士とならないために、我々を滅ぼさないために」と文中の説明をしたのだった



そが今日の教育問題を解決する唯一の道である。市民運動と教育現場での運動の連帯が急務である。学習会を広く組織し「声ひろば」などを利用して宣伝をつよめていこう。(西込)

高知県革新懇総会

とき 7月12日(土)
午後1時30分より
ところ 高知城ホール2階会議室

- 2003年度の「報告と提案」
 - 西土佐村革新懇からの特別報告
- などを予定しており、みなさんと一緒に地域・職場革新懇運動の前進について、交流を深めたいと思います。また、各界からのメッセージ、国会報告など、多彩な総会にしたいと思います。

平和・民主・革新の日本をめざす高知県の会
— 高知県革新懇 — TEL088-875-3917

君逝きし何故になせにと問いつづけ(N先生)
ひたすらに学ぶ三年(みとし)のペタル踏む(卒業生 珍珠厚江)
神に生かされ人を愛して主に召さる(作家 三浦綾子姉)
悪政を阻む仁王の両腕(かいな)(同志 山原健二郎)
逝く朝は海がきれいであればよい(女優 沢村貞子)

— 生命・友情・歲月 — 其の三

川柳

小澤 幸泉

李広宏コンサートのご案内

— 日本語と中国語で歌う心の歌 —

とき：7月19日(土) 14:00~
ところ：かるぽーと・大ホール
入場料：¥2500(当日2800)
：¥1500(高校生以下)

曲 目：夏の思い出、蘇州夜曲、夜来香
宵待草、ともしび、愛の賛歌 他

チケット取り扱い所

市文化プラザ・ミュージアムショップ
高新・大丸各プレイガイド
県美・ミュージアムショップ

問い合わせ：柳井(844-5712fax 共)

第17回高知県高齢者大会案内

日時：9月13日(土) 1:30~3:30
会場：こうち女性センターソール
テーマ：国連第二回高齢化問題世界
会議と高齢者の人権
記念講演：上坪陽氏
(日本高齢者NGO議長)
参加費：300円

第17回日本高齢者大会案内

日時：9月28日(日)~29日(月)
開催地：浜松
参加費：5000円(2日間)
旅費：概算 約70000円
宿泊 8000円
参加費 5000円
交流会費 4000円
一泊旅行 53000円
高知県の参加は一泊旅行セット
詳細・申込：小澤幸次郎へ
(088-846-6077)

私の健康法

横山民子

この題名で書けという事だが、さて、と改めて考えると、取り立てて言うほどのこと何もしない。が、敢えて言えば心掛けていることは二、三ある。

まず、一日3、40分のウォーキング。これは、健康法と言うより、日常生活のリズムの一部で、何らかの理由で歩けないと、その日は消化不良のように体に重みが残る。元来、樹々の移ろいや、季節の山野草を見ながらの山歩きが好きで行きたくてたまらないが、如何せんお定まりの膝痛がやってきて、上りはいいが下り坂の苦痛を思うとつい二の足を踏む。そのかわりでもないが、私のウォーキングコースは結構川岸の雑草が季節の移り変わりを教えてくれるらしい。これは休む理由を自分につけて休まないでも続いている。

もう一つあるとすれば、日常の食卓。幸い玄米を沢山送ってくれるところがあって、家庭用精米機を買って五分搗きにし、今流行りの黒米、赤米、五穀を混ぜて炊く。これが日常の御飯。口の中がモサモサしそうな感じがだがこれが結構おいしい。というよりおいしくなってきた。昔の人が食べてきた粟、稗、こきび等々時々ブレンドを変えながら、今やJAの直販はもとよりスーパーでも沢山の種類が出ている。穀類のうまみとあつて、炊き上げると穀類

第43回高知市 母親大会に参加

今年も日本母親大会に向けて各地で小集会が開かれています。六月十五日には城西中学校を会場に第43回高知市母親大会開かれました。強い雨脚にもめげず集まった人の熱気で盛り上がり成功しました。

高退協からは医療・介護の分科会に参加、高額医療費制度が自己申請のためもらえていない額の多さに驚きました。周りに該当者がいないか、申請の手助けができたらとおもいます。多くのことが学べました。

(林)



のいい香りがして、今や白米よりずっとおいしいと思ふようになった。魚、野菜、季節の煮物は努めて食べるというより、おいしいので欠かせない食材。

努力していることがあるとすれば、週一回サークルでやっているその名も「命の貯蓄体操」自強体操と言われるとおり、未病のとき自強して免疫力を高めておくという目的の体操だが、しんどい時もあるが、後が爽やかで今日も行ってよかつたと思えるので続いている。

しかしである、どんなに日常生活で健康に留意していても、加齢から来る体調の変化は如何ともしがたい。六十五才迄はその努力の結果は出るが、それ以上はどんなDNAをもつて生まれてきたかによって、その人のその後の人生というか、寿命はほぼ決まるとか読んだことがあるので、とうにその域に達している今、少々痛いところがあつても、まあいいか、こんなこともありか、と加齢に逆らわないうで、自然体で生きることになっている。

「平和をつくりだす者」

—人間の盾・木村牧師のイラク報告—

「キリスト教徒として、戦争に参加した国の国民として、二重の意味で責任を果たそうと『盾』になった」と言われた木村公一さんはパプテスト連盟福岡伊都キリスト教会牧師で、「人間の盾」として今年三月から約一カ月間バグダッドに入り、イラク戦争を内側から体験された。そこで見た、政府間同士の争いに巻き込まれるイラク人の姿に、国家の壁を超え、民衆が連帯する必要を強く感じたと言う。

六月十日、高知城ホールに参加した二〇〇人を前に木村さんは、戦争で利益を得る集団の意思が戦争を起こすように、「平和への意思が戦争を止める」ということを皆さんと確認したいと訴えられた。

同じキリスト教徒として深い感銘を受けるとともに行動への祈りと勇気を与えられました。

小澤幸次郎



高齢者運動連絡会総会

開かれる

六月十三日(金)午後一時半から三時半まで、高知保険医協会で高運連絡会が開かれました。十一団体十六名が出席(高退教からは小澤が出席)しました。森清一郎会長のあいさつの後、彼末事務局長より、二〇〇二年度まとめと二〇〇三年度方針、収支報告と予算、規約改正について提案がされました。質疑討論の後、三議案を全員一致で承認しました。

役員改選が行われ、

会長森清一郎(保険医協会) 副会長森田啓子(新婦人) 事務局長彼末明(医療生協) 事務局次長

光富佳代(保険医協会) 平石加津(退婦教) の方々が選出されました。

短歌

神原忠彦

鼠木戸くぐりて入れば天保の芝居小屋なり

升席に座す金毘羅歌舞伎観劇二首

お嬢吉三櫓太鼓で見得切れれば両肌抜きに雪

吹雪散る

七時よりの読書は止めぬ十一時筑紫哲也を聴き
て寝に就く

昨夏回想—四万十学習講座参加

叶岡淑子

碧き水と斜長橋とに抱かれて古里きらり四万十
楽舎

雑穀と庶民の歴史学ととき炎暑のホールに質問

つづく

鮎を食み先輩・旧友らと集う夕べ はるけき音
音たてて来つ

程さん一家中国に帰る

山本晶子

弥生の日程さん一家を見送りしが故国は肺炎蔓延しゆく

延しゆく

バスケット部の仲間と銘ちゃんを結ぶテープ

はぴんと張りつめ海に落ちゆく

(銘ちゃんは程さん夫妻の一人子)

趙さんは日本人より日本的だったと語り合い

つつ船影を追う (趙さんは程さんの奥さん)

四月選挙他

鉄兵

山原は癌に冒され壮絶に候補を支援演壇に立つ

街宣を涙流して聞く男候補の握手しばし離さず

ああこれが寝たきりになる始めかと死にものぐ

るい気力にて起く

青山の無名戦士に合葬さる丸山先生ほのかに笑

みて

相撲三知識(五十四)

林 勤

断髮式

「角界の鉄人・寺尾の引退、鍛山親方襲名」と「平成の大横綱・貴乃花の引退、一代年寄貴乃花襲名」の披露大相撲(断髮式)が、それぞれ去る五月三十一日と六月一日に、共に両国国技館で一万一千観衆の中で盛大に行われた。入場者が一万人を超え、満員御礼の垂れ幕が下がるのは、最近では本場所でも二、三日であることを思うと、両力士の人気の高さが改めて感じられた。

当日のプログラムは、十両、幕内力士の土俵入りと取り組み、櫓太鼓の打ち分け、髪結いや横綱締めの実演等、大体同じようなものであるが、力士によって特別番組が見られる。寺尾は、思い出の土俵で我が子とのけいこを披露、また、明日断髮式をする貴乃花の友情・お祝いの土俵入りもあった。貴乃花は、アナウンサーのインタビュに応じ、「土俵人生を振り返る」として土俵上でトークをした。優美な最後の土俵入りを披露したことは言うま

でもない。

見せ場は断髮式である。土俵上で正面に向かつて正装でいすに腰掛けた力士に、ゆかりの方々が順次鉢を入れ、最後に師匠が「止め鉢」を入れ、力士の象徴である大銀杏が切られて終わる。寺尾は流石に人気力士だけあって、各界の著名人約三百二十人が鉢を入れた。貴乃花は五十人であった。

この辺りについては、次のような記事「貴乃花の断髮式はテレビ生中継された。まげを切る。はさみ料」は人気力士で約五十万円と言われます。貴乃花の場合、テレビ中継に考慮したのか、五十人という少ない人数でしたが、普通は何百人という人が土俵に上がります——が見られる。

鉢は後ろから入れるので、互いに顔は合わないが、呼び上げられて順次鉢を入れるので、それぞれの方への思いが去来するであろう。寺尾の鉢み入れは淡々と進んでいたが、次男晴也君(八才)の時には、白いハンカチで涙を拭いた。貴乃花に鉢を入れる元横綱・伯父の初代若乃花、大鵬、兄若乃花らの姿には満場の観衆が湧いた。



伯父の元二子山理事長。現役時代「土俵の鬼」と謳われた横綱若乃花(初代)である。相撲の名家花田家の原点

髪を切り、花束を持って土俵上に立った力士を称え、今後の繁昌を祈る元幕内大至(大至親方)の相撲甚句もすばらしかった。大至はプロ歌手を目指し、両力士の断髮式後の六月十八日、相撲協会に引退届を出している。大観衆の前での今回の熱唱は、大至にとっても断髮式引退興行になったように思われる。

断髮式を終えた力士は、国技館入り口の両側に並ぶ二十軒の国技館サービス会社(俗に言う「お茶屋さん」)へ挨拶回りをして第二の人生が始まる。親方稼業のご繁栄と立派な弟子育成を祈念したい。